

大久野島ビジターセンター便り

Vol.66 (H25.12.21)

紅葉していた葉っぱもすっかりと落ち、島は冷たい風が吹き抜けるようになりました。ウサギたちが目をほそめて体を丸くしている姿もよく見かけます。

今年は、島の第一桟橋近くのダイオウショウの木にたくさんの松ぼっくりがつかまりました。ダイオウショウは毎年実をつけるわけではなく、3～5年おきのようです。

つめたい風が吹く日は、外へ出るのが億劫かもしれませんが、ダイオウショウの松ぼっくりやヤブツバキの蒴果(=さくか 果実の一種)などを探しながら島を散策してみるのもよいかもしれませんね。今回は、冬の久野島の様子をみなさんにご紹介いたします。

冬の久野島



【第一桟橋横のダイオウショウ】

松ぼっくりは雨にあたると閉じて、乾燥すると開きます。中の種は乾燥した翼で風によって、遠くへ飛んでいけるようなしくみになっています。



【ダイオウショウの松ぼっくり】

向かって左がダイオウショウ、右がアカマツの松ぼっくりです。長さ20cm以上になる松ぼっくりもあります。なかなか落ちてこないで、島で拾った人はラッキーです！



【ヤブツバキの蒴果(さくか)】

枝先にたくさんついています。堅い果実が乾燥して裂けると中から種が落ちる仕組みになっています。風の強い日は、下にたくさん落ちているので拾って観察してみてください。



【寒そうなアナウサギ】

風のあたらないところで、目をほそめて、体を丸めてじっとしています。撮影した日は、強い風が吹いていたので、ウサギさんたちも寒そうでした。

実施報告

命のゆりかご作品展の期間中に、親子で1つのものを作っていたいただくクラフト体験を実施いたしました。島に生育している植物や海辺で貝拾った貝殻などを使って、形にしなが瀬戸内の自然や大久野島の自然を学びました。とっても素敵な作品にしあがりましたね！みなさんありがとうございました。



うちわを作ろう！（カブトガニのかたち）

8月4日（日）10：30～12：00

○大久野島周辺に生息しているカブトガニ。形を作りながら、体がどうなっているのか学んでみよう！



貝殻標本を作ろう！

8月10日（土）10：00～12：00

○島の砂浜で貝殻をひろって、標本を作ってみよう！
いろんな色や形の貝殻がひろえるかも・・・？！



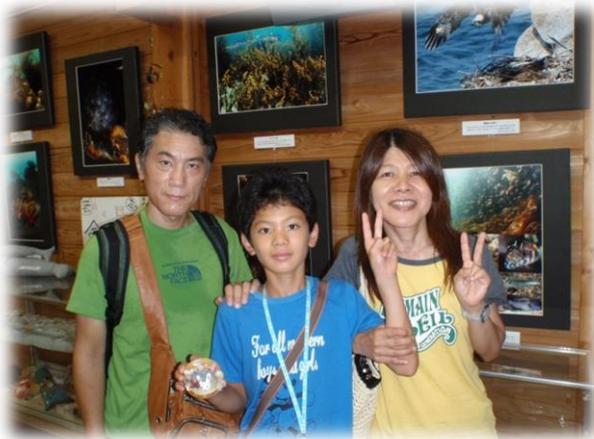


ビーチグラスで飾りを作ろう！

8月24日（土）10：00～12：00

○島の砂浜でビーチグラス（誰かが捨てたピンが砂でけずれて角がまるくなったもの）をひろって、飾りを作ってみよう！





うちわを作ろう！（うさぎのかたち）

8月31日（土）10：30～12：00

13：30～15：00

○島には700羽以上のアナウサギが、野生化して暮らしています。形を作りながらアナウサギについて学んでみよう！



お知らせ

大久野島ビジターセンターでは、平成25年11月16日(土)～平成26年3月31日(月)まで「大久野島のウサギ作品展」を館内レクチャールームで行っています。

大久野島には、野生化して暮らすアナウサギが島内全域に生息しています。1971年に(忠海の)小学校で飼いきれなくなった8羽を島に放したのがきっかけとされていて、現在では700羽以上が暮らしています。この作品展では、下記のことを皆さんに知っていただくために、ウサギ有志のみなさまや来館者のみなさまのご協力で毎年開催させていただいております。

素敵な作品が勢ぞろいですので、島にお越しの際にはぜひお立ち寄りください！

ウサギたちからのお願い



- マナー① … 追いかけてまわしたり、抱っこしたりしないで！
- マナー② … 島にウサギを捨てないで！
- マナー③ … ゴミやタバコのポイ捨てをしないで！

☆ 島のウサギたちや動植物たち、そして私たち人間 みんなが、島で楽しく過ごせるように、この作品展を通じて 自分たちに出来ることは何かを一緒に考えていきましょう！



大久野島のウサギ作品展

期間 平成25年11月16日 ～ 平成26年3月31日

会場 大久野島ビジターセンター

レクチャールーム内

入館料 無料(水曜休館, 1～2月は水,木曜日 休館)

○プロ,アマチュアカメラマンの写真や絵画、作家さんのぬいぐるみ,水墨画などを展示しています。



大久野島ビクターセンター便り vol. 66 H25. 12. 21 発行
発行・編集：大久野島ビクターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場